

2019Japan National Team Report ”監督”

報告者氏名	前田 博志
大会名	2019 Optimist World Championship
開催地	Antigua
大会期間	7/6～7/16

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当岡田までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です（文中に貼り付けて下さい）
 2. 他国OP艇を接近して撮影する際には、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい
- 帆走指示書のコピーを添えてください。

現地までの旅程	<行き> 7/2 羽田 → ニューヨーク（ニューヨーク泊） 7/3 ニューヨーク → アンティグア <帰り> 7/16 アンティグア → ニューヨーク（ニューヨーク泊） 7/17 ニューヨーク → 羽田（7/18）
旅行代理店	日本航空
渡航費用	羽田発 203,000円 広島発 213,000円 ニューヨーク宿泊 約45,000円 × 2 = 90,000円
エントリー料	※ <u>実際に支払った通貨で記入して下さい</u> 競技者参加費（1人あたり）850 USD 大人参加費（1人あたり）850 USD
一人当たりの宿泊費用	エントリー料に含まれる
その他食料費	食料を日本より持ち込みました。 飲料水を主として購入、日本の1.5倍くらいの物価でした。
チャーター料金	OPチャーター艇（1艇あたり）580 USD 支援艇 800 USD
大会本部の対応	特別な対応はなし。 確実な情報を得るために、気になることがあった場合は、直接大会本部に行き話をした。
チームリーダーミーティングの様子、内容	最初に1回あったのみ。 必要な情報は、全てWeb、掲示板で展開された。

選手達の様子で 気をつけたこと	疲れをためないようにしたいと考えていたが、選手自らが睡眠時間をしっかりと、体調管理ができていた。
食事はどうでしたか	食事は朝夕バイキングでした。 あまりバリエーションがなく、選手は日本から持参したもので食事をするのがあった。
セキュリティーなど で気をつけたことは ありましたか。	特になし
荷物に関して工夫 したこと	スパーやセールを関東でまとめたおかげで、何とか制限内の重量で荷物を持ち込めた。
日本との通信状 況、手段	各自、Wi-Fiルーターを持参。現地でSIMカードを購入。
他国チームとの国 際交流の実施	選手はいろいろな国の選手と交流ができていた。ただし、「英語が話せたら、もっと交流ができたのに残念」という声もあった。
持参してよかった 食品、医療品等	お米、インスタントの麺類、各種おにぎりの具材
次回参加者へアド バイス	世界のレベルは高いです。もっと練習をして、是非上位に入れるように頑張ってください。
JODAへの要望	特にありません。 いつもサポートをしていただき、ありがとうございます。
その他	特にありません。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会